

《 要旨 》

1. 視聴率動向と編成戦略

・ 視聴率動向

個人視聴率は全日・ゴールデン・プライムが8週連続三冠王を獲得できた。

10月改編は新たに始まったドラマ3本、全て手ごたえはあるが、ここからさらに視聴率を上げられるよう取り組む。

『I LOVE みんなのどうぶつ園』からの土曜日GP帯視聴の流れを今後大切にしていきたい。

2. 営業状況

・ 放送収入

9月のネットタイムセールスはレギュラー増収、ただし、前年に比べて単発番組が減ったことでトータルでは減収となった。スポットは前年に比べ落ち込んでいるが、10月以降は回復を期待している。

・ 放送外収入

依然として新型コロナウイルスの影響でイベントは延期や中止が続いているが、徐々に再開し、『ロンドン・ナショナル・ギャラリー展』は盛況であった。映画も『今日から俺は！！劇場版』は興収53億円を超えた。11月13日からは映画『ドクター・デスの遺産—BLACK FILE』も公開されるのでPRも頑張っていきたい。

3. 質疑

Q. 日テレ系ライブ配信（同時配信）について

A. コンセプトは“テレビを持っていない若者やテレビを見ない生活者に新しいテレビコンテンツを提供する”こと。反響が大きかったのは10月9日（金）サッカー日本代表カメルーン戦で、たくさんの方に見て頂けた。データのフィードバックはトライアルの終了後に行う予定。

Q. 来年の箱根駅伝の放送について

A. 予選会も行われ、出場チームも決定したので開催されることを前提に準備している。来年は沿道からの声援ではなく、テレビの前からの応援をお願いしたい。

Q. 『嵐にしやがれ』と『1億3000万人のSHOWチャンネル』について

A. 『嵐にしやがれ』は、最終回に向けて、ふさわしい内容に出来るよう準備を進めている。新番組『1億3000万人のSHOWチャンネル』も同様に良いスタートをきれるよう、内容を詰めている。

（了）

小杉 善信 代表取締役 社長執行役員
福田 博之 取締役執行役員